

【国語】

本校の概要

【領域ごとの正答率】

「言葉の特徴や使い方に関する事項」

○全国平均とほぼ同程度であるがやや上回っている。

「情報の扱い方に関する事項」

◎全国平均を上回っている。

「話すこと・聞くこと」

◎全国平均を上回っている。

「書くこと」

◎全国平均を上回っている。

「読むこと」

◆全国平均とほぼ同程度であるがやや下回っている。

今回の調査における課題

■ 比喩や反復などの表現の工夫に気付くこと。

■ 目的に応じて、必要な情報を見付けること。

■ 文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめること。

改善の方向

□ これまでに話したり聞いたりする中で触れてきた、比喩や反復、倒置などの表現の工夫への気付きをまとめて整理するなどの学習活動の充実。

□ 文章の中から必要な情報を取捨選択したり、整理したり、再構成したりする学習活動の充実。

□ 既有的知識や理解した内容と結び付けて自分の考えを形成する学習活動の充実。

【記号の意味】

◎ 上回っている

○ やや上回っている（＋3ポイント以内）

◇ 全国平均正答率

◆ やや下回っている（－3ポイント以内）

▼ 下回っている

【算数】

本校の概要

【領域ごとの正答率】

「数と計算」

- ◆全国平均とほぼ同程度であるがやや下回っている。

「図形」

- ◆全国平均とほぼ同程度であるがやや下回っている。

「測定」

- 全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている。

「変化と関係」

- ▼全国平均を下回っている。

「データの活用」

- ◆全国平均とほぼ同程度であるがやや下回っている。

今回の調査における課題

- 整数と小数の減法の計算をすること

- 日常生活の問題を解決するために、図形を構成する要素に着目して直方体の三つの辺の長さを捉え、示された条件を基に、調べたい数量の求め方を数や言葉を用いて記述すること。

- 示された情報を基に、数量の関係に着目して、条件に合う時間を求めること。

- 百分率で表された割合と比較量から、基準量を求めること。

- 帯グラフの特徴と使い方を理解し、およその割合を読み取ること。

改善の方向

- 小数の加法及び減法の計算は、整数と同じ原理、手順でできることを理解する学習活動の充実。

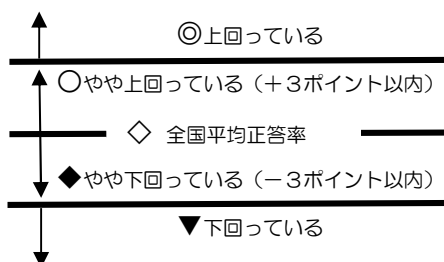
- 問題解決に必要な直方体を構成する要素を見だし、それを活用できるようにする学習活動の充実。

- 示された情報を基に、数量の関係に着目して、数理的に処理できるようにする学習活動の充実。

- 問題場面から、基準量、比較量、割合の関係を捉えることができるようにする学習活動の充実。

- 目的に応じて収集したデータを帯グラフに表し、データの特徴を捉えることができるようにする学習活動の充実。

【記号の意味】



【児童質問紙調査】

「全国平均に比べ、肯定的な回答の割合が高い項目」

- ・英語の勉強は好きですか(+15.7)
- ・5年生までに受けた授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていましたか(+7.8)
- ・あなたは自分が PC・タブレットなどの ICT 機器で文章を作成する(文字、コメントを書くなど)ことができますか(+7.7)
- ・あなたの学級では、人と違う意見を言っても否定されないと思いますか(+6.8)
- ・困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか(+5.7)
- ・先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか(+5.1)
- ・国語の勉強は得意ですか(+4.5)

「全国平均に比べ、肯定的な回答の割合が低い項目」

- ・算数の勉強は好きですか。(−12.0)
- ・算数の勉強は得意ですか。(−11.8)
- ・5年生までに受けた授業では、算数の問題の解き方が分からないときは、あきらめずにいろいろな方法を考えましたか。(−11.6)
- ・算数の問題の解き方が分からないときは、あきらめずにいろいろな方法を考えますか。(−10.3)
- ・授業で学んだことを、次の学習や実生活に結びつけて考えたり、生かしたりすることができると思いますか。(−8.8)

「児童質問紙の結果から」

今回の質問紙の結果からうかがえるのは、ストロングポイントとして言語能力や ICT での表現力が高く、大人への信頼や心理的安全性といった充実した学習環境・自己肯定感がある。一方で課題は、算数への強い苦手意識、分からなくなった際の粘り強さの不足、そして学校での学びを実生活に結び付ける力の弱さである。今後の対策として、得意な言語力を算数に活用すること、日常に算数を取り入れること、そして結果ではなく試行錯誤しながらその過程を大切にすることの関わりが求められる。